



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL <https://www.tonyamachi.com> E-mail info@tonyamachi.com 発行/2025年1月1日



祝 青森港開港400年



新
謹
賀
年

新年あけましておめでとうございます。



理事長

柳谷 章二

2025年の新春を迎え、謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返ると、2024年は年明け早々に石川県能登半島で震度7の地震が発生し、多くの方々が被災されました。翌日には羽田空港において航空機衝突事故も起こり、大きな衝撃をもたらした一年の幕開けでありました。国内経済では、日経平均株価が7月に史上最高値を更新し、日銀はマイナス金利解除と利上げで大規模緩和時代からの脱却を図るなど、日本経済は新たな局面に入りつつあります。物価や賃金の緩やかな上昇が見られる中、地域企業にもこれまで以上の変革と対応が求められているところです。

このような状況のもと、当組合の最重要課題であります団地再整備事業では、脱退が1社発生したものの、10月には問屋町フードコートに「ラーメンビヨリ」がオープンし、連日たくさんのお客さんが訪れるなど飲食施設の充実が図られています。また、景観再整備事業では問屋町地区枝線道路南北ラインの街路樹伐採計画にあわせて、問屋町を彩る木のストリートファニーニチャー計画を現在とりまとめているところであります。

さらに、新たな取り組みとして、組合員企業の人材確保を支援するため厚生労働省の助成金を活用し、共同求人広告を実施しました。8月から11月の4か月間にわたり32社の求人広告を問屋町特集ページとして掲載した結果、30件近い問い合わせが寄せられ、その中から実際に採用につながった事例もあり、一定の効果を上げることができました。情報事業では、組合から組合員従業員に対する情報発信力強化を図るため組合公式LINEアカウントを開設し、6月から配信をスタートさせていただきました。

また、SDGs推進事業では新たにフードドライブ事業やエコキャップ運動に取り組みしました。9月に実施したフードドライブでは組合員12社からお菓子やレトルト食品、清涼飲料水などが約40箱分寄せられ、子育て中の貧困家庭や子ども食堂等に寄贈させていただきました。さて本年も最重要課題である団地再整備事業を着実に推進しつつ、経済的価値・社会的価値・文化的価値のそれぞれの創出事業活動を推し進めて、問屋町ビジネススクールや人材確保支援事業なども充実させ、組合員をしっかりとサポートしてまいります。

本年が、組合員の更なる発展と飛躍の一年となりますことを心から祈念申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

第 8 回 理事 会

12月13日(金)に第8回理事会が開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。また、事務局からは健康事業10周年記念シンポジウムの実施結果などについて報告した。

主な案件審議は次のとおり。
案件一・問屋町ビジネススクールの運営委員会からの意見について
案件二・景観再整備検討ワーキング委員会からの意見について
案件三・組合員の組織変更に伴う出資金等の承継について
案件四・組合員跡地買取資金

風力発電がもたらす地域経済効果などを紹介 組合員昼食会

組合員昼食会が12月5日(木)に問屋町会館2階大会議室で開催され、組合員従業員ら42名が参加した。はじめに、NPO法人青森風力エネルギー促進協議会の本田理事長が、風力発電による地域経済への効果について説明した。

青森県では日本海側2カ所と陸奥湾での洋上風力発電が計画されており、今年度、青森港が洋上風力の基地港湾に指定された。洋上風力における経済波及効果は3分の1が風車、3分の2が建設や維持

の借換について
案件五・2024年度第9回理事会の日程等について

組合員の労務管理を啓蒙 商団連とセミナーを共催

組合では10月18日、11月15日、12月12日の3回に渡り労務管理セミナーを問屋町会館で開催し、延べ48名が参加した。同セミナーは全国卸商業団地協同組合連合会との共催で実施。講師は組合の社会保険労務士で問屋町ビジネススクールの講師でもある(株)ビジネスブレインの佐藤代表らが務めた。

同セミナーは、今年の7月に県内に本社を置く組合員に実施した労務管理の現状を把

管理と言われており、今後の運用においてはサービス業や不動産業など建設業以外にも経済波及効果をもたらすことが期待されている。また、同協議会では基地港湾付近に人材育成センターの建設も計画しており、周辺地域への経済効果が期待されている。次に、青森県立青森高等技術専門校の中野専門員が障がい者の多様なニーズに対応した委託訓練事業について紹介した。

同校は厚生労働省所管の公共能力開発施設として、若年者や離職者などを対象に就職に必要な知識・技能・技術を習得して即戦力となる人材を育成している。障がい者向けの委託訓練事業では、障がい

握するためのアンケート結果を基にテーマを設定。第1回は最低限押さえるべき労務管理の基本編、第2回は労働時間編、第3回は賃金編と続き、各回で実務に役立つ知識や具体的な事例が紹介された。ま



労務管理セミナー



組合員昼食会

者の就職支援や特別支援学校卒業予定者向けの訓練コースのほかに、企業等を委託先として実践的な職業訓練も実施している。事業者は訓練期間中、賃金を支払う必要がなく、労災保険は県が加入するなど

業務報告

主要事項

- 12月
4日▽健康事業10周年記念シンポジウム
5日▽組合員昼食会
▽青森県流通団地連絡協議会第38回通常総会
6日▽第48回問屋町ボウリング大会(2日目)
▽問屋町経営同友会第38回会員交流会
9日▽第3回景観再整備検討ワーキング委員会

- 10日▽第1回ビジネススクール運営委員会
12日▽第3回労務管理セミナー
13日▽第48回問屋町ボウリング大会表彰式
▽第8回理事会
16日▽青森県運営診断
17日▽金融審査会
▽第6回問屋町1000日ウォーキング表彰式
20日▽問屋町納税貯蓄組合第54回定例会

- 問屋町ビジネススクール
5日▽セルフモニタリング強化研修
6日▽数字に強い人材・組織を作る方法

共同求人広告結果報告

組合では2024年8月から11月までの間、組合員の求人活動支援の一環として、厚生労働省の助成金を活用して共同求人広告を実施し32社が利用した。結果は下記のとおり。

求職者からの問い合わせは28件、最終的に正社員3名、パート・アルバイト1名が採用され一定の効果が見られた。組合では、次年度も同助成金を活用して組合員の人材確保を支援する。

共同求人広告 応募状況 (2024年8月~11月) (単位:名)

Table with columns for Job Type (求人チャレンジ/求人誌), Status (正社員/パート/小計), and Count (問合/応募/面接/採用).

今号より、文字フォントを年齢や文化、身体的障害などの如何にかかわらず誰にでも読みやすいように作られているユニバーサルデザイン(UD)フォントに刷新します。

謹賀新年

旧年中は格別のお引き立てをたまわり厚くお礼申しあげます。本年も変わらぬご愛顧のほど、よろしくご願ひ申しあげます。

- 理事長 柳谷 章二 (関アツダアンライニ青森)
副理事長 佐治 隆雄 (関プリモ)
副理事長 石田 憲久 (関ゆうネット)
専務理事 赤坂 晃 (関青森総合卸センター)
理事 工藤 正博 (関KGアンサンブル)
理事 佐々木 聡 (関青森三菱自動車販売)
理事 江渡 文隆 (関江渡商事)
理事 大平 幹夫 (関大平教材社)
理事 鷺尾 晴美 (関技術)
理事 船越 秀彦 (関角弘)
理事 太田 雄三 (関伸和産業)
理事 鳴瀬 正彦 (関大青工業)
理事 柿崎 忠俊 (関青森総合警備保障)
監事 和田 祥平 (関和田ゴム販売)
監事 桂木 敏介 (関桂工業)

新年のメッセージ

(協)青森総合卸センター事務局職員



専務理事
赤坂 晃
青森問屋町配送(株)専務取締役

昨年はパリオリンピックの金メダルラッシュ、そして大谷翔平の50・MVPなどの活躍で大いに盛り上がりました。
今年は大阪万博で未来を体験したいと思いを。
組合員皆様のご発展を心からお祈りいたします。



事務局長
小田切 勇治

数年、農家友達のりんご収穫を手伝っていたら、りんごに詳しくなりました。ふじと葉取らずサンフジの違いってわかりますか？知れば知るほどりんごが好きになりますね。さて、いよいよ50代。「頼まれごととは試されごと」の精神で邁進します！



業務部長
西田 一実

2024年は組合の健康事業10周年であったにもかかわらず、夏に腰と膝を痛め、秋にはカゼによる高熱で寝込み、冬には帯状疱疹で痛みを耐える健康とはほど遠い1年でした。

2025年こそは健康体で1年乗り切ります。



総務部長
成田 賀子

昨年は↓そういうえば転勤族の嫁だった。おかげでタイプ重視。認めたくない老眼スタート。フィットネス難民。今年は↓一人息子中学生になる。自転車活動始めよう。せつかくだからピアノやってみようかな。



業務課長
五十嵐 敦

もうすぐ2歳になる双子の兄弟は、毎日のように新しい言葉やダンスを覚えていき、その成長のスピードに驚かされるとともに、自分自身も成長していかなくてはならないとあらためて学ばれます。新年も彼らに負けないよう、たくさんのことにチャレンジしていきたいと思えます。



総務部主幹
田中 静香

昨年は初めて県外のウォーキングイベントに参加するとともに、3つのイベントで計100km超

ウォークしました。今年は、レインボーブリッジを渡るイベントに参加したいです。組合員の皆様もぜひ問屋町100日ウォーキングにご参加ください。



総務部主幹
鎌田 綾野

昨年1月に育児から復帰しました。4才になった長女は口答えをするようになり、長男は誰にでも懐くズル助に、次男はイヤイヤ期真最中と怪獣3匹と戦う毎日です。今年はそんな怪獣達と旅行に行ければいいなと思っています！



総務部主査
春山 心仁

昨年はさくらマラソン(10kmコース)に初参加し、マラソンの楽しさや達成感を味わうことができました。今年はさくらマラソンに加えてアップルマラソンにもチャレンジしてみたいと思います。



総務部主査
鶴谷 優子

昨年は初めて体験ダイビングに挑戦し、会えたらラッキーのマンタに遭遇することができ、とても貴重な体験ができました。海で泳ぐのは怖いですが、また今年もどこかの海に潜り行くために仕事を頑張りたいと思います。



総務部主事
伊藤 舞

昨年は1年を通して病気や風邪を引くことがほとんどなく、健康的な1年となりました。

今年は、課題である運動習慣を身につけ、筋力と体力をつけたいです。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



業務部書記
堀内 大暉

後厄も無事終わり、昨年は好きなことを一通りやり切れた1年でした。デイズニーに行き、愛犬と戯れ、ねぶたの全日程に参加する、とても充実した1年間でした。今年も質の高い体験を求めて1年間過ごしていきます。



業務部書記
後藤 康生

昨年は担当業務も増えて学びの1年でした。新しいことに挑戦するのはとても大変ですが、自身の成長を実感することが出来ました。また、休暇は友人と釣りやバーベキューなどのアウトドアを楽しむことが増えました。今年も何事も楽しむ気持ちをもつて取り組み、仕事・プライベートともにより充実した1年にしていきたいと思ひます。



問屋町交流ストアパート
成田 あすか

昨年もストアをご利用いただきありがとうございます。まだまだ止まらない値上げの波に安さが自慢だった当店も抗えず、仕入れの度に値上げを余儀なくされておりますが、他店では見かけない商品を仕入れたりしておりますので、今年も気軽に足を運んで頂けると幸いです。



問屋町交流ストアパート
門間 由紀子

昨年はたくさんさんの出会いがあり、わが家も久々に賑やかで忙しくも楽しい年だったと思ひます。今年も「二期一会」を大切に、おもてなしの心で賑やかで楽しい1年にしたいです。



青森問屋町配送(株)業務部長
佐藤 博善

昨年は多くの方々にお世話になり、誠にありがとうございました。今年も「復活と再生の象徴」のイメージがあるらしく「新しいことが始まる年になる」と言われているそうなので、仕事だけではなく、私生活にも少し期待をして今年も頑張りたいと思ひます。
最後に2025年(令和7年)が皆様にとって良い年でありませうと祈念致します。
本年もよろしくお願ひ致します。



2024年間屋町10大ニュース



①共同求人広告実施

人材確保に苦慮する組合員を支援するため、厚生労働省の助成金を活用して求人誌2誌(ビージョブ・ワーキン)で共同求人広告を実施。組合員32社が利用し、4社4名が採用まで至った。



②健康事業10周年記念シンポジウム開催

組合の健康事業への取り組みが10周年を迎えたことから記念シンポジウムを開催。組合の取組紹介のほか、弘前大学の中路特別顧問による基調講演、健康経営に積極的に取り組む組合員らによるパネルディスカッションを行った。



③能登半島沖地震義援金寄託

2024年1月1日に発生した能登半島地震による被災者支援のため、組合員に災害義援金を募った。27社から60万円の義援金が寄せられ、組合分を合わせて100万円の義援金を、日本赤十字社を通して被災地に贈った。



④組合公式LINEアカウント開設

組合から案内するインフォメーション等の情報発信力強化を図るため、通信アプリ「LINE」にて組合公式アカウントを6月に開設した。登録促進キャンペーン等により、12月末現在で420名が友だち登録している。



⑤商団連東北ブロック会議青森で開催

全国卸商業団地協同組合連合会(商団連)が主催する東北ブロック会議が10月に当組合会館で開催。東北地方の各卸団地から理事長ら34名が出席し、活発な意見交換が行われた。



⑥金入と連携協定締結

8月に、組合員の備金入とビジネスブックカフェの運営に係る連携協定を締結した。同社は、2011年に100冊のビジネス書を組合に寄贈。今後も毎年10冊ずつ、最新のビジネス書を提供することとなった。



⑦ラーメンビヨリ開店

新規組合員である(同)令和末広が運営する「ラーメンビヨリ」が10月に間屋町フードコートにオープンした。連日大盛況で、1日100人以上が訪れる人気店となっている。



⑧青森中央学院大学の学生が組合員紹介動画制作

青森中央学院大学の学生が組合員企業のPR動画を制作した。この取り組みは同校の授業の一環で行われ、組合を通じて協力企業を募集したところ、組合員企業5社が賛同し、動画撮影に協力した。



⑨フードドライブやエコキャップ運動などSDGs推進

SDGsを推進する組合では、今年度新たに「とんやまちフードドライブ」と「エコキャップ運動」に取り組んだ。また、間屋町SDGs宣言企業限定で、SDGsへの取り組みをPRする車両マーキングシール及びポスターの無料配付を行った。

⑩北日本流通ヴァンが清算結了

北日本流通ヴァン(株)の臨時株主総会が1月に開催され、清算結了した。同社は県内の卸団地が中心となり、卸・小売間の受発注業務の合理化・効率化を図るため1989年に設立。社会的役割を終え、解散となった。